

# 公共施設マネジメント通信 vol.6

## 第5回まちづくりワークショップを開催しました！

平成 30 年 4 月 27 日発行  
小田原市 企画部  
公共施設マネジメント課

鴨宮地区

進行：工学院大学 建築学部  
遠藤 新 研究室

### 意見交換の概要

日時：3月14日(水)18:30～20:30  
場所：川東タウンセンターマロニエ 202 会議室

参加者：16名  
傍聴者：0名



### 第5回テーマ

地区公民館が公共施設の再編にどう関わ  
るのか話し合う。

### 意見交換の論点

- ・地区公民館はこの先どうあるべきか、どうあってほしいのか。
- ・公民館があるため公共施設は必要ない。
- ・公共施設がこうなれば、地区公民館は必要ないかもしれない。
- ・公民館と公共施設を合体させて、もっと便利にしたい。
- ・どの公民館でどのような活動があるのか。
- ・どの公民館を残して欲しいのか。

### ■「地区公民館」に対する参加者の意見

項目	意見
1.コミュニティ活動	○コミュニティ活動の場であり多世代が交流できている ○地域に根付いた場所だ
2.使い方(場所)	○地域の人が集まるから使いやすい ○地域で使うことが多く地域外の人を使うことは少ない ○自由度が増えるのであれば学校などの公共施設でもいいと思う
3.防災(安心安全)	○公民館は一時避難場所になっている ○公民館の方が公共施設より古い
4.維持管理	○公民館は自分たちで管理しているから使いやすい ○公共施設と複合化すると管理や運営が大変になる
5.その他	○公民館は、世代間交流の縦のつながりと地域交流の横のつながりをつくっている ○高齢化により使う人が増えるのではないかと



項目	意見	項目	意見
鴨宮公民館	○4つの自治会が会議やお祭りなどで使っている	飯泉公民館	○3つの自治会で利用しており使いたいときに使えない ○借地で建て替えられない ○近くのコーヒー店で自治会の打合せをすることがある
白銀公民館	○2つの自治会で使っている ○近くの小学校を活用できるのでは	矢作公民館	○管理・清掃は組ごとにローテーションで行っている ○公民館のお祭りには子どもが多く集まる ○地域で公民館主催の文化祭を行っていて1日に70人～80人は見に来る
成田公民館	○建替えを行って設備が充実している ○近隣施設と複合化する場合に駐車場を分けたい方がよい	中里公民館	○両方の公民館が近いが共同でイベントを行うことはない
成田公民館西分館	○公共施設との複合化ができないか	下堀公民館	
高田公民館	○予定を見ると月の半分は埋まっている ○トイレをきれいにしたい		
酒匂公民館	○子ども食堂で利用されている		

意見交換の概要

日時：3月12日(月)18:30～20:30 参加者 15名  
場所：梅の里センター 会議室 A・B 傍聴者：1名



第5回テーマ

これからの暮らし方と公共施設の  
使い方について

意見交換の内容

大学研究室が、これまでのワークショップでの議論を受けて作成した具体的な提案に対して意見交換を行う。

流れ

- 大学から再編案の説明（60分）
- 意見交換・発表（60分）

■話し合った再編案の内容

①歴史・文化の拠点  
：梅の里センター

- 駅を利用する学生、高齢者向けに活用方法を検討
- 下曽我駅からのアプローチが開放的ではないため、ベンチ等を設置して入りやすい空間とする
- 産業振興施設であることは変えられないので、特産品を売るようなカフェを設置

②生涯学習の拠点  
：上府中支所周辺地域の活用

- 子どもだけでなく様々な世代に対して、生涯学習の拠点とする
- 地域の人々が、要らなくなった本を持ち寄り交換できる図書スペースの設置

③スポーツ・子育ての拠点  
：上府中公園の活用

- 民間事業者が施設の整備から公園管理まで関わってもらう
- 横浜市山下公園にあるコンビニの事例等

◆地域住民が情報発信していくためのシステム整備

- スマホ向け地域情報アプリの活用  
→有料だが地域活動を一覧にでき、緊急連絡や防災情報を受け取れる
- フェイスブック等で地域サイトを作り地域で運用
- サークル活動等を紙で一覧にし配布

■参加者の意見

①歴史・文化の拠点  
：梅の里センター

- 梅のシーズンでも以前ほど活用されていない
- 観光インフォメーションを設置しても良い
- 駅からのアプローチを整備できれば行きやすく使いやすい施設になる
- もっと市民の力を活用するべき

②生涯学習の拠点  
：上府中支所周辺地域の活用

- 子どもの居場所づくりが必要
- 学校の管理方法を変えて使いやすくなると良い
- 駐車場のスペースがない

③スポーツ・子育ての拠点  
：上府中公園の活用

- 屋内施設があれば利用が増える
- コンビニの設置は賛成だが、参入してくれる民間事業者がいるか心配
- キャンプ場などのアウトドアの施設にし防災拠点としても利用する

◆地域住民が情報発信していくためのシステム整備

- 地域情報アプリを実験的に製作することが可能であれば利用したい



【問い合わせ先】

小田原市企画部公共施設マネジメント課  
TEL：0465-33-1305 FAX：0465-33-1286  
Email：shisetsu@city.odawara.kanagawa.jp  
〒250-8555 小田原市荻窪300番地